

## 労山コーナー

### 兵庫県連のマダニ被害経過報告の紹介

京都府連盟常任理事会

前々回はやましな山の会主管で行った交流会に参加された兵庫県勤労者山岳連盟の笹部公孝（兵庫県連組織部長）さんからマダニ被害の情報提供を受けましたので紹介します。兵庫県連機関誌 2019 年 1 月号「兵庫労山」に掲載された報告です。以前、兵庫労山からマダニ被害の概要は聞いていましたがその詳細です。

京都では（私は）「ダニに噛まれた」「病院に行った」との話は聞いていますが「感染して入院した」までの話は聞いていません。しかし、マダニの被害は山登りをする者にとって府県を問わず命に関わる深刻な共通の問題です。私は大丈夫とマダニを軽視しないでこの兵庫県連の報告書を読んでマダニ被害を自分のものにして頂きたと思います。

（やましな山の会青山）

### 西宮明昭山の会会員のマダニ被害の経過報告

兼重良三（西宮明昭山の会 会長）

当会で 8 月に 2 件と 9 月に 1 件、合計 3 件のマダニによる死亡および入院の事故が発生しました。マダニに関しましては、会として何度となく会報に注意喚起の記事を掲載すると同時に、夏秋優兵庫医大准教授にも、2013 年 5 月および 2016 年 3 月の 2 回、講演していただき、また山行終了時、ズボンなどに付着していないか確認していました。にもかかわらず今回のような重大事故が発生し、県連ならびに関係者の方々に心配をおかけし、申し訳ございません。今回のマダニに関する経緯を簡単にご説明します。

【1】8 月の 2 件の被害者は、71 歳の女性 A さんと 70 歳の男性 B さんです。死亡されたのは A さんで、酷暑の 8 月に六甲の例会に元気に 5 回も参加し、最後に参加した 8 月 26 日の夜に 40° C の高熱が発生しました。8 月 27・28 日に近所の病院に行かれたが原因が判らず、8 月 30 日に明石医療センターで受診、入院されました。9 月 1 日に様態が急変し、長男（医師・医学博士）との最後の会話が「私そんなに悪いの」と聞いています。9 月 6 日に検査結果

が出て、日本紅斑熱であることが長男に告げられ、翌 9 月 7 日に容態 が急変し死亡されました。

【2】男性 B さんは、8 月に六甲の例会に 1 回参加され、夏山に備えて個人山行を 6 回行 い、い  
ずれも六甲に行っています。8 月 25 日に斑点が現れ、8 月 26 日に高熱が発生、8 月 27 日、  
会の事務所に行くべきバス停で気分が悪くなり、救急車で六甲アイランドの神鋼病 院に搬送  
され入院治療しました。9 月 8 日に治癒退院しました。2 人に共通する点を調べたところ、  
8 月 18 日に「芦屋地獄谷南尾根～天上川右俣～はぶ 谷」に行っていることが判明しまし  
た。高熱が出た 8 月 26 日と潜伏期間の 2～8 日 を考 え る と、断定はできませんが被害日  
は 2 人が参加した 8 月 18 日に間違いはないかと思ひます。

【3】9 月の 1 件は 67 歳の女性 C さんで、9 月 12 日から発熱、9 月 15 日には高熱になり そ  
の頃は実家の高砂に帰っておられ、近くの皮膚科の病院および加古川中央病院で受診、血 液検  
査などを行ったが、皮膚科の診察は正しいので服薬、様子を見ようということになりま した。  
9 月 15 日に C さんに私が確認したところ、実家から西宮に帰っていて、「高熱が出て きた」  
というので救急車で兵庫医大の夏秋先生に受診するよう指示し、結果、即入院されま した。山  
には 9 月 6 日「鷹尾山～横の池～はぶ谷」コースの例会に参加し、その前に行 ったのは 8 月  
29 日で、潜伏期間を考えると 9 月 6 日の例会であると推測できます。C さんは、治療の結  
果、9 月 22 日に退院し、9 月 24 日には例会に参加されています。

3 人に共通するのは、横の池とはぶ谷ですが、私見では食事は横の池周辺であり、普段か らイ  
ノシシの多い横の池が最も危険ではないか、と思ひます。

■マダニの緊急講演会について／主催 西宮明昭山の会 ○1 開催日：2018 年 9 月 29 日／会場：  
西宮市大学交流センター／参加数：131 人(会員のみ) ○2 開催日：2018 年 11 月 22 日／会  
場：西宮夙川公民館／参加者数：会員 154 人 県連・大阪労山関係その他 39 人 合計 193 人  
以下、下記がありました。PDF でコピーできませんでした。

・ダニ媒介感染症の注意喚起について 平成 30 年 9 月 21 日兵庫県健康福祉部文書

・兵庫県マダニ注意喚起 PDF「マダニから身を守りましょう マダニとはどんなダニ」を

検索して

「[マダニに注意！（2018 年度作成版） - 兵庫県](#)」を選択して下さい。

## 京都府連盟 無雪期搬出訓練のご案内

救助隊事務局

昨年に引き続き屋外で訓練を雨天決行で行います。

今年の応急手当は西山ハイキングクラブが担当します。山行中に誰かがケガをしたら応急処置はどうするのか、各会ではそれぞれに訓練を行ったりマニュアル等があるかと思いますが、搬出訓練の応急手当は各会の取り組みの水平展開、共有と新たな処置方法の発見を目的の一つとしています。今年の搬出はロープを使った組織レスキューと共に、日頃持って行っている装備だけを使った現実的なセルフレスキューも行います。初めての試みでうまく行くかどうかは分かりませんが実際にやって改善を重ねてより良い方法を追求して行きたいと思っています。

- 1 実施日 2019年6月30日（日）雨天決行
- 2 全体集会、訓練場所  
応急手当：JR 山崎駅から東に歩いて 10 分の桜の馬場公園  
ネット搬送：天王山登山道  
セルフレスキュー搬送、組織搬送：天王山山頂広場周辺
- 3 スケジュール予定  
8 時 30 分～ 受付開始 9 時 00 分 開始挨拶  
9 時 10 分～応急手当訓練——西山ハイキングクラブ担当  
11 時 00 分～15 時 30 分 ネット搬送、昼食、セルフレスキュー搬送、組織搬送  
15 時 30 分～山頂広場で反省会 16 時 00 分 解散
- 4 持ち物：応急手当 一般日帰装備一式と筆記具  
搬出法 一般日帰装備(非常用装備を含む)とヘルメット(持っていない方は無くてもいいです)
- 5 参加条件：労山基金、又は、民間山岳保険加入者
- 6 申 込： 労山部 平尾まで 締切日 6月8日（土）

# 全国の山からゴミをなくすため

## 清掃登山・クリーンハイクを実施・成功させよう

日本勤労者山岳連盟・京都府勤労者山岳連盟  
自然保護委員会

山歩きを楽しんでいるときに、ゴミが落ちていたら楽しみも減少します。

日本勤労者山岳連盟は、1974年から全国の地方連盟・会・クラブに、清掃登山・クリーンハイクを呼びかけ、毎年6月（東北、北海道は7月）の第1日曜日を全国一斉の清掃登山・クリーンハイクの日として取り組んでいます。今年で46回目（京都では55回目）を迎えます。

昨年は、431の会クラブが330の登山コースで取り組み6,007名が参加し、4,699kgのゴミを回収しています。（京都では、17の会が26のコースで511名が参加し240.5kgのゴミを回収）登山コースのゴミは少なくなっており、殆んどないという報告もあり、登山者のモラルが向上していることの表れです。しかし、登山口の近くや駐車場にはゴミが散乱しているところもあります。また、産業廃棄物と思われるゴミも確認され、それぞれの地方自治体に連絡して回収するように呼びかけています。

クリーンハイクは、登山者が誰でもどこでも取り組むことのできる自然保護運動の第一歩です。清掃登山・クリーンハイクの行動は、単にゴミを拾うというだけでなく、山を汚さず傷つけないという登山者のモラルを高める呼びかけでもあります。広範な登山者に山の自然の大切さをアピールする行動として、参加を呼びかけかけるものです。

積極的なところでは、自治体などと協力し後援を受けて、一般登山者にも広く訴えて、一般参加者や子供たちにクリーンハイクの体験をしてもらい、自然保護がいかに大事であるかを伝える取り組みも行われています。全国一斉の清掃登山・クリーンハイクに向けて準備し、実りあるものにしましょう。

### 記

1. ゴミは山に捨てないようにし、持ち帰りましょう。
2. 登山者・ハイカーだけでなく、一般旅行者、外国の登山者にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。
3. トイレの問題も深刻です。携帯トイレを必ず携帯し、利用することで自然への負荷を減少させましょう。
4. すべての登山者・ハイカーが、山と緑の番人、山岳自然を守る番人としての自覚を持ち、山歩きを楽しみましょう。
5. 山岳自然破壊にも関心を持ち目撃情報を報告してください。

